

# 宇都宮大学留学生・国際交流センターニュース



【学内報】 第19号 (2012年度)

## 留学生・国際交流センターを発足しました

留学生センターは、本学の国際交流のより積極的で具体的な業務展開を図るため、従来の日本語教育運営部門、留学生指導・相談部門に加え、国際交流推進に重点を置いた国際交流推進部門を設置し、平成24年4月1日から留学生・国際交流センターとして新たにスタートしました。

地域社会住民の皆様や企業のご協力をいただきながら、本学の国際化を推進して参りますので引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



写真は、留学生・国際交流センターの前で進村学長（右）と橘川センター長

## 留学生・国際交流センター長挨拶

橘川眞彦

宇都宮大学「留学生・国際交流センター」は、平成24年4月1日より従来の「留学生センター」から名称変更となりました。その理由は、同年4月1日より「国際交流推進部門」が新設されたことによります。本学留学生・国際交流センター（旧留学生センター）は、平成14年4月に設置され、10年ほどの歴史を持っています。この間、外国人留学生に対し、必要な日本語・日本事情教育及び修学・生活上の指導助言を積極的に行うとともに、留学生交流の推進や海外留学を希望する学生に対する指導助言を鋭意実施してきており、センターの所期の目的を果たしてきました。

他方では、全国的に見れば近年、我が国のグローバル戦略の展開が叫ばれ、大学の国際化と留学生政策にも大きな転換が期待されるようになってきました。その具体例として、平成20年7月には平成32年を目途とした「留学生30万人計画」が策定されたり、大学間交流の促進や大学における国際的な質保証の問題が論議されたりするようになってきました。

このような流れの中、本学においても、（1）平成21年11月に学長が定めた「宇都宮大学重点施策2009～『留学生・国際交流センター(仮称)への展開』」、（2）第2期中期目標I-1-(2)-④内外の高等教育機関との連携及びI-3-(2)国際化に関する目標などが策定され、より広範で積極的な国際交流の推進が喫緊の課題となっていました。

従来までの留学生センターは、「日本語教育運営部門」と「留学生指導・相談部門」の2部門から構成されていましたが、本学においても国際交流のより積極的で具体的な業務展開を図るためには、一部を改組し国際交流推進に重点を置いた部門の新設が必要となりました。このような経緯に伴い、センターは3部門体制となり、センター名称も変更することになった次第です。

新設部門の「国際交流推進部門」では、次のような業務を行うことになっております（留学生・国際交流センター規程第3条）。

- イ. 国際交流に係る企画、立案、広報及び情報収集に関すること。
- ロ. 外国人留学生と地域社会との交流の企画立案及び実施に関すること。
- ハ. 学生の留学及び国際交流の推進に関すること。
- ニ. 外国人研究者の受け入れに関すること。
- ホ. その他国際交流及び協力に関すること。

もとより大学の国際化は、センターのみで果たせるものではありません。各学部・研究科、事務部も含めた全学的な取り組みが不可欠です。地域社会住民の皆様や企業の協力も必要です。夢を抱き、希望に満ち溢れて宇都宮大学で勉学・研究に励んでいる外国人留学生が、宇都宮大学で学ぶことができ幸せだったと感じ、将来母国と日本との交流の架け橋の役目を果たしてくれる人材として育ててくれること、内向き志向といわれる日本人学生が積極的に海外に留学し、我が国の国際的競争力の向上に寄与するようなグローバル人材として育ててくれること、これらが私ども留学生・国際交流センター教員全員の願いであります。

宇都宮大学留学生・国際交流センターがより一層発展するように微力を尽くしますので、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 平成24年度4月新規来日留学生歓迎会の開催

平成24年4月25日（水）午後5時15分から宇都宮大学会館において、進村学長をはじめとする役員、学術国際委員会委員、留学生受入の指導教員等関係者の出席のもと、留学生約70名が参加して、平成24年4月に来日した留学生の歓迎会を開催しました。

橘川留学生・国際交流センター長から、「4月に新規に来日した留学生の皆さんを心から歓迎します。」と開会の挨拶の後、進村学長から「1日も早く宇都宮大学での生活に慣れ、留学の所期の目的を達成できるよう、私達はサポートします。この留学の機会には、勉学にとどまらず多くの友人を作ってください。また、日光などの名所を訪れるとともに、地域の人たちとも交流しながら日本の文化や風習に触れるなどして、いろいろなことを体験してください。」と挨拶がありました。

茅野教育・学生担当理事の乾杯の挨拶の後、新規留学生代表として、国際学研究科前期課程1年生の鄭思宇（テイ シウ）さんが挨拶、在学生代表として、国際学研究科前期課程2年生の季新（キ シン）さんが歓迎の挨拶をしました。

今回の歓迎会には、日本人学生も参加して留学生と懇談するなど、有意義なひとときを過ごしました。



進村学長の挨拶



歓迎会に参加した留学生と教員

## 平成 24 年度春季海外留学説明会を実施

6月19日（火）に、平成24年度春季海外留学説明会を実施しました。本説明会は、平成25年度に海外の交流協定校へ交換留学を希望する日本人学生を対象としたもので、参加者数は過去最高の95名に上りました。従来は毎年11月に1度だけ説明会を開催していましたが、今年度からは学生の海外留学をさらに促進するために、6月と10月の2度に渡って実施することとなりました。

説明会では、留学生・国際交流センター長橘川真彦教授の挨拶に続いて、留学生・国際交流課から平成25年度交換留学の応募手続き及び留学のための奨学金制度についての説明がありました。続いてキャリア教育・就職支援室が「海外留学と就活について」と題したプレゼンテーションを行い、実際に留学と就職活動を経験した先輩学生の声も紹介されました。修学支援課からも単位認定制度及び留学中の諸手続きについての説明があり、短い時間でしたが盛りだくさんの内容となりました。事務による説明が終わった後は留学生・国際交流センター国際交流推進部門の吉田一彦教授から海外留学についての講話をいただき、終盤には現在宇都宮大学に交換留学中の韓国人学生、<sup>キムソジン</sup>金素辰さん（釜慶大学校）による母校及び母国の紹介の場も設けられました。

参加学生たちは皆、すべての説明に真剣に耳を傾けながら熱心にメモを取っており、10月に始まる平成25年度交換留学への応募に向けて、早くも気持ちを引き締めた様子でした。



橘川留学生・国際交流センター長挨拶



吉田一彦教授講話



金素辰さん（釜慶大学校）母校紹介